

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和3年(2021)年度
定期総会議案書

目 次

定期総会について	i
島臨技表彰	ii
議案	
令和2年度経過報告	1
令和2年度決算報告	3
会計監査報告	6
その他	
活動報告	7
令和3年度予算	18
表彰	19
会員状況	19
賛助会員	22



一般社団法人

島根県臨床検査技師会

令和3年5月27日

会員各位

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
会 長 錦織 昌明

令和3年度 定期総会について

定款第16条により、令和3年6月13日（日）10時00分より 一般社団法人 島根県臨床検査技師会「令和3年度 定期総会」を開催いたします。新型コロナウイルス感染症予防の為 Zoom によるオンライン形式で行いますので、会員各位、多数の出席を要請します。

1. 議 事

1) 第1号議案 令和2年度経過報告

- (1) 総 括
- (2) 総務部
- (3) 企画部
- (4) 学術部
- (5) 経理部
- (6) 西部地区

2) 第2号議案 令和2年度決算報告

3) 第3号議案 会計監査報告

2. 報告事項

1) 令和3年度予算

表 彰

(敬称略)

一般社団法人島根県臨床検査技師会 永年職務精励者

氏 名	施設名
荒木 剛	島根大学医学部附属病院
森奥 雪世	松江赤十字病院
和田 和美	ヘルスサイエンスセンター島根
米山 美幸	高鳥クリニック
岩間 修平	雲南市立病院
土江 知代	雲南市立病院

順 不 同

【第1号議案】

令和2年度経過報告

総括

Web会議やZoomを使った研修会など「新しい生活様式」に即した方法が具現化された一年であった。十分とはいかなかったかもしれないが当会でも各種研修会や精度管理調査報告会等を開催することができた。島根県の地理的環境を考えると、今後もこの方式をさらに充実して大いに活用すべきと考える。これに関する皆様のご意見を頂戴したい。

施設によっては「鼻腔検体採取」「コロナ抗原検査」「コロナPCR検査」等の業務拡大を強いられ、臨床検査技師としてコロナ対策の一翼を担って活躍していただいたのではないだろうか。検体採取講習会を受講した折には、こんなに早くこの資格が効果を発揮するとは予想していなかった。今後のタスクシフト事業にも通ずるかもしれない。

会員相互の顔が見えない状況だが、島臨技ニュースや島根医学検査を情報共有に活用していただきたい。

会員諸氏には技師会活動への一層のご協力をお願いする。

総務部

令和2年度の定期総会は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、初めて書面決議にて行った。この方式を取るには定款および法的順序に則り全会員の承諾が必要であり、他県では不可能だと言われた中、島根県会員皆様のご協力によって無事に成立したことを心より感謝申し上げる。議事事項である「令和元年度経過報告」「令和元年度決算報告」「会計監査報告」「令和2・3年度役員を選任」について、当会員の86%にあたる389名分の書面表決書が集まり、全て賛成により承認・可決された。

また、施設代表者会議、新人研修会、島臨技新年賀会などすべての集合形式での行事を企画・開催することができなかつたことを、改めて会員の皆様にお詫びする。

広報としては島臨技ニュースをNo160、No161の2回発行した。島臨技行事の中止に伴いニュースの内容に苦慮したが、各種研修会報告、新理事・監事役員紹介、学術部門役員紹介、新入会員紹介など、他施設の人と交流が難しい中楽しんでいただけたのではないだろうか。

企画部

日臨技主催の全国「検査と健康展」の中央会場開催は中止となり、47都道府県での地方開催の実施については各都道府県の判断に任されることとなった。当会理事会にて勘案し、コロナ感染拡大防止の観点から本年度の開催は見合わせることにした。

例年行っているその他の行事もほとんどが開催できない状況であったが、今後を見据えて「集合研修等における新型コロナウイルス感染拡大防止ガイドライン」の作成に当たり、島臨技としてのルール作成に携わった。

新年度は今後の動向などを参考にしながら、引き続き生活習慣病の早期発見や定期的な健康診断の重要性を啓発し、臨床検査技師の認知度向上につなげられるような企画をしていきたい。

学術部

今年度の学術活動は「コロナ禍においてどのように安全かつ合理的に活動を行うか」という課題を携えてのスタートであった。今までの様に集合形式での研修会の開催が難しく、各部門長の方々のご協力による試行錯誤の結果、オンライン研修会の形が確立出来たことは大きな成果であった。研修会開催数は4回と少なかったが、遠方でも参加し易いためか参加者は通常より多かった。コロナ感染症が終息後もオンラインを有効に活用し、会員の皆様がスキルアップに役立てられる研修会を、より参加し易い形で開催していきたい。

精度管理事業については、日臨技の精度管理システムの利用により効率的に進めて行けたが、内部のトラブルにより皆様にご迷惑をおかけしたことは心よりお詫び申し上げます。開催を危ぶまれた精度管理報告会も、皆様のご協力により無事にオンライン開催する事ができ、多くの会員の皆様の参加をいただいた。

島根県医学検査学会は今年度開催できなかったが、研修会、精度管理報告会の実施経験を踏まえ、来年度にはより良い形での開催を試みる。

「島根医学検査 Vol.49」を発刊予定であるが、近年論文投稿の減少がみられる中で今回は、松江で開催された中四国支部医学検査学会に多数発表があったため、多くの会員の方に投稿して頂いた事に感謝申し上げます。今後も多くの会員の皆様の投稿を期待する。

経理部

コロナ禍でスタートした1年は、今まで行っていた行事が次々と見送られた。その為にオンラインの導入が不可欠となり、試行錯誤の研修会、精度管理報告会の開催であった。しかしながら離島が有り、横に長く移動に時間と費用のかかる当県においては、良いきっかけになったと思われる。遠方の方にも負担なく行事に参加していただけるよう、今後も資金面から拡充をバックアップする。

収入については、検査と健康展の補助金や研修会参加費の収入が無かったため予定より減額したが、行事が少なかった分支出も減額し、Zoomの年間契約、ネットワークセキュリティの強化を図って、安定した年度末正味財産で令和3年度に引き継いだ。

最後に、今年度も各方面でご協力いただいた企業、関係者の皆様に感謝し、心より御礼を申し上げます。

西部地区

今年度は、公益活動として毎年参画してきた浜田市健康フェスティバルが新型コロナウイルス感染症拡大を受け中止となった。また、島根県技師会としての活動もほとんど開催できない状況で、例年行っている島根県医学検査学会も集合形式での開催が困難なため見送られた。

【第2号議案】

令和2年度 一般会計決算

自 令和2年4月1日
至 令和3年3月31日

款	項	目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	増減	備考
会費収入			3,980,000	3,935,000	△45,000	
	会費収入	会員会費	3,080,000	3,115,000	35,000	445名
		賛助会員会費	900,000	820,000	△80,000	40社
事業収入			1,310,000	681,940	△628,060	
	事業収入	広告収入	300,000	235,000	△65,000	島根医学検査、ニュース
		研修会参加費	180,000	0	△180,000	
		精度管理参加費	230,000	223,000	△7,000	42施設
		助成金	600,000	223,940	△376,060	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	15,000	10,491	△4,509	預金利息、文献使用料
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	4,200,000	4,313,144	113,144	
収入合計			9,505,000	8,940,575	△564,425	

支出の部

款	項	目	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	増減	備考
事務費			3,440,000	2,459,703	△980,297	
	庶務費		2,280,000	1,973,607	△306,393	
		役員報酬	300,000	282,000	△18,000	
		人件費	1,200,000	1,050,035	△149,965	事務職員人件費
		消耗品費	330,000	166,904	△163,096	ラベル、封筒、コピー用紙他
		通信費	200,000	209,131	9,131	電話、インターネット、切手他
		備品費	170,000	163,296	△6,704	コピー機リース料
		管理諸費	80,000	102,241	22,241	支払い手数料、登記諸費用
	会議費		610,000	7,294	△602,706	
		会議費	60,000	894	△59,106	理事会他
		旅費交通費	550,000	6,400	△543,600	
	事務所費	事務所費	500,000	448,802	△51,198	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	30,000	△20,000	
事業費			3,810,000	1,388,102	△2,421,898	
	総会費	総会費	140,000	121,000	△19,000	議案集、会場費、講師料他
	精度管理費	精度管理費	700,000	640,515	△59,485	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		1,450,000	299,893	△1,150,107	
		学術活動費	1,000,000	34,733	△965,267	研修会、県学会
		会誌	450,000	265,160	△184,840	島根医学検査
	広報活動費		1,050,000	265,967	△784,033	
		島臨技ニュース	400,000	150,414	△249,586	年2回発行
		広報活動費	200,000	115,553	△84,447	HPリニューアル、維持管理
		地域活動費	450,000	0	△450,000	検査と健康展、健康フェスティバル、他
	組織強化費		470,000	60,727	△409,273	
		厚生費	300,000	38,727	△261,273	会員慶弔費、新年賀会
		組織強化費	170,000	22,000	△148,000	
予備費	予備費	予備費	400,000	0	△400,000	
支出合計			7,650,000	3,847,805	△3,802,195	

区分	令和2年度 予算額	令和2年度 決算額	増減	備考
収入額	9,505,000	8,940,575	△564,425	
支出額	7,650,000	3,847,805	△3,802,195	
差引額	1,855,000	5,092,770	3,237,770	

学会準備金 1,000,000円

令和2年正味財産 6,092,770

貸借対照表

令和 3年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	6,772,770	7,218,144	△ 445,374
流動資産合計	6,772,770	7,218,144	△ 445,374
2.固定資産			
(1)特定資産			
学会準備積立資産	1,000,000	1,000,000	0
特定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
固定資産合計	1,000,000	1,000,000	0
資産合計	7,772,770	8,218,144	△ 445,374
II 負債の部			
1.流動負債			
前受金	1,680,000	2,905,000	△ 1,225,000
流動負債合計	1,680,000	2,905,000	△ 1,225,000
負債合計	1,680,000	2,905,000	△ 1,225,000
III 正味財産の部			
1.指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	6,092,770	5,313,144	779,626
(うち基本財産への充当額)			(0)
(うち特定財産への充当額)	(1,000,000)	(1,000,000)	(0)
正味財産合計	6,092,770	5,313,144	779,626
負債及び正味財産合計	7,772,770	8,218,144	△ 445,374

正味財産増減計算書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

(単位:円)

科目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	(3,935,000)	(4,050,000)	(△ 115,000)
会費(正会員)	3,115,000	3,150,000	△ 35,000
会費(賛助会員)	820,000	900,000	△ 80,000
事業収益	(458,000)	(555,000)	(△ 97,000)
広告収入	235,000	190,000	45,000
研修会参加費	0	127,000	△ 127,000
精度管理参加費	223,000	238,000	△ 15,000
受取補助金等	(223,940)	(1,125,000)	(△ 901,060)
補助金等	223,940	1,125,000	△ 901,060
その他収益	(10,491)	(218,299)	(△ 207,808)
受取利息	51	51	0
雑収入	10,440	218,248	△ 207,808
経常収益計	4,627,431	5,948,299	△ 1,320,868
(2) 経常費用			
庶務費	(2,459,703)	(2,687,639)	(△ 227,936)
役員報酬	282,000	294,000	△ 12,000
人件費	1,050,035	1,000,740	49,295
消耗品費	166,904	310,699	△ 143,795
通信費	209,131	136,419	72,712
備品費	163,296	163,296	0
管理諸費	102,241	46,654	55,587
会議費	894	18,555	△ 17,661
旅費交通費	6,400	235,010	△ 228,610
事務所費	448,802	464,239	△ 15,437
雑費	30,000	18,027	11,973
事業費	(1,388,102)	(2,683,717)	(△ 1,295,615)
総会費	121,000	126,800	△ 5,800
精度管理費	640,515	542,231	98,284
学術活動費	34,733	340,699	△ 305,966
会誌	265,160	368,700	△ 103,540
島臨技ニュース	150,414	404,749	△ 254,335
広報活動費	115,553	138,180	△ 22,627
地域活動費	0	387,167	△ 387,167
厚生費	38,727	139,445	△ 100,718
組織強化費	22,000	99,946	△ 77,946
予備費	0	135,800	△ 135,800
経常費用計	3,847,805	5,371,356	△ 1,523,551
当期経常増減額	779,626	576,943	202,683
当期一般正味財産増減額	779,626	576,943	202,683
一般正味財産期首残高	5,313,144	4,736,201	576,943
一般正味財産期末残高	6,092,770	5,313,144	779,626
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	6,092,770	5,313,144	779,626

【第 3 号議案】

監査報告書

専門別活動報告

1 総務部

1) 諸会議

(1) 定期総会 令和2年6月22日(月)

- ・令和元年度 経過報告
- ・令和元年度 決算報告
- ・会計監査報告
- ・役員を選任

議決行使書 364名 (会員総数 449名)

(2) 理事会

第1回

当法人の令和2年度理事会に関し、代表理事 三島清司 は、定款第40条の規定に基づき、理事に対して下記の事項を理事会の目的事項として提案し、議決権を行使することができる理事の全員から同意の意思表示があったので、理事会の決議があったものとみなされた。

なお、監事は、本提案に対して異議は述べなかった。

第1 会員の状況

議決権を行使することができる理事の総数 15名

第2 理事会の目的事項

決議事項

【議案】 会長、副会長、専務理事及び常務理事の選定について

当法人の理事が新たに選任されたため、改めて下記の者を会長、副会長、専務理事及び常務理事に選定すること

会長(代表理事)	錦織 昌明		
副会長	荒木 剛	領家 敬子	
専務理事	高野 智晴		
常務理事	吉岡 豊道	赤沼 佳子	石川 理恵、
	兒玉 るみ	青戸 正樹	
理事	豊田 健治	藤原 誠	池田 智美
	糸原 奈奈	杉原 辰哉	野津 礼子

第3 理事会の決議があったものとみなされた日

令和2年6月22日

第2回 令和2年8月 新型コロナ感染症のためメール会議

報告事項

《総務》

- ・会員の動向 456名(入会24名) 令和2年8月7日現在

《学術》

【島臨技サーベイ】

- ・今年度の日程

募集期間

8月3日(月)～8月13日(木)

手引書公開	11月4日(水)
試料発送日	11月10日(火)
実施日	11月11日(水)
測定結果入力期間	11月11日(水)～11月29日(日)

- ・システムの初期設定はシステム管理会社(H&T社)に依頼
- ・設定費用 100,000円(税抜) / 年
- ・上記内容で日臨技へ使用申請書を提出済み

《西部》

- ・第8回島根県医学検査学会 4月5日開催予定だったが新型コロナ感染症により中止

審議事項

1. 今年度の行事について

- ① 新年賀会は中止 承認
- ② 検査と健康展は中止 承認
- ③ 県学会・精度管理報告会は要検討(内容・方法など)
- ④ 現時点では原則として、集会形式の活動はできないと思われる 承認
理事からはWebを活用した県学会・精度管理報告会をとの意見が多数

中止した今後の対応 承認

- ① 新旧の部長の間で早急に引継ぎをする(期限を決めて)【各部長】
- ② 新部長は担当理事に確実に周知する【各部長】
- ③ 事業計画の作成【各部長】
- ④ 可能な活動(島臨技ニュース、HP更新、精度管理事業等々)はすぐにスタート
- ⑤ リモート会議やメール会議を早急に準備する【事務局】
 - ・理事の参加可能な人でZoom模擬会議開催→通信を確認した。
 - ・現在は無料版を使用しているため、月2,000円の有料版を申込み予定

2. 事務局のパソコンの変更について 承認

- ・現在Windows7を使用しているため、セキュリティ等の心配
- ・バージョンアップは可能であるが、不具合が起きやすいとの事
- ・3社に見積もりを依頼((株)サンメディア、(株)ミック、(株)松文オフテック)
- ・経費が15万円弱の予定

第3回 令和2年11月6日(金) Zoom会議

報告事項

《総務》

- ・会員の動向 456名(入会26名) 令和2年11月4日現在

《学術》

【研修会】

- ・臨床血液研修会の報告 参加者 80名

《会長》

【今後の日臨技理事予定】 ほとんどがWeb開催(場合によっては東京へ出向く)

- ① 12月4日 支部幹事会

- ② 12月5日 日臨技理事会
- ③ 1月22日 賀詞交歓会
- ④ 1月23日 日臨技理事会
- ⑤ 3月27日 日臨技理事会

審議事項

① 三島前会長表彰推薦について

承認

- ・表彰罰委員会より推薦承諾
 - ・推薦書を荒木副会長が作成
- 理事会としても三島前会長を推薦することです承

② 新人研修会について

対象者の人数調査が必要

今年度の開催について

<意見>

- ・無理やりする必要はないが、技師会に関する説明をする機会を持ちたい
- ・開催時期は見極める必要がある
- ・「横のつながり」を目的とする研修会を今の状況下で開催するのは難しい
- ・今年度無理にリモート開催をするよりは、来年度になって2年分の人数を集めてやっ
てはどうか？

<結論>

新人研修は行うが、時期は見極めて行う。来年度になるかもしれない
集合研修を開催するための指針を作成する

承認

③ 学術部研修会について（別紙参照）

血液研修会の実績から対策等の検討：開催方法、参加費等について

<意見>

- ・ハイブリット方式で開催できるとよい
- ・参加費について：オンライン研修の間は参加費を徴収しなくてもまかなえる
- ・他県でも無料の研修会あり。自県の会員の参加のみとしているケースが多い

<結論>

オンライン研修に関しては参加費を無料とする
非会員は参加費として3,000円を徴収する

承認

④ 臨地実習指導者の育成について（連絡済み）

2023年度末までに1,200名以上を目標

4月からスタート 該当施設の方には受講を依頼

⑤ 医師の業務負担軽減に係るタスクシフト／シェアについて（連絡済み）

アンケート実施済み

⑥ 島根県医学検査学会と精度管理報告会の開催の有無、方法について

今年度の開催について

<意見>

- ・Web開催で行ってもよいのではないか

- ・録画して配信することができないか
- ・日臨技 HP で検索できた範囲では、Web 開催 3 県 現地開催 3 県
- ・県学会は可能な限り開催してもらいたい
- ・精度管理報告会も形式 (Web・現地) は問わず開催してもらいたい

<結論>

島根県医学検査学会は今年度の開催は見送る

承認

精度管理報告会については、開催方法を青山精度管理委員長と考案

承認

島根医学検査学会の開催方法 (やり方) について

<意見>

- ・例年、西部地区の負担になっている
- ・担当施設の負担にならないように平等・均等に役を振り分けしてはどうか

<結論>

開催方法については県内施設全体で担当するよう見直しを行う

開催を見送る今年度は、来年度以降の開催にむけてやり方を検討する期間とし、

吉岡西部地区長を中心に、恒松前理事等含め相談しながら検討を行う

承認

⑦ 今後の理事会活動予定

総会は 6 月をめどに検討

⑧ その他

- ・島根医学検査 (論文誌) は投稿数が相当数集まっており、すべて採用の予定
- ・Zoom 研修会について、別添資料を部門長に周知する
- ・参加者把握・生涯学習点数付与をどのように行うか
(荒木副会長・兒玉学術部長・事務局でまとめて案を提示)
- ・コロナ禍における集合研修について：開催指針を作ってはどうか？
(石川企画部長・領家副会長を中心に指針の作成を依頼 (12 月末頃までに))

技師連盟会員・自民党員の拡大

自民党入会については、強制ではないが宮島会長推薦のためにも協力を

第 4 回 令和 3 年 3 月 19 日 (金) Zoom 会議

報告事項

<<総務>>

- ・会員の動向 455 名 (入会 29 名) 令和 3 年 3 月 18 日現在

<<学術>>

【研修会】

- ・2 月 21 日 輸血細胞治療部門研修会 (オンライン) 参加者 53 名
- ・2 月 23 日 病理・細胞部門研修会 (オンライン) 参加者 73 名

【精度管理報告会】

4 月 11 日 Zoom によるオンラインで開催予定

《会長》

- ① 臨地実習指導者について
 - ・ 島根県は学生実習受け入れ施設は 2 施設（島大病院・松江日赤）
 - ・ 各施設 1 名以上の指導者育成を
- ② 日臨技認定センター主催試験について
 - ・ 講習会・研修会は原則として日臨技 Web システムによるオンデマンド形式
 - ・ 認定試験は全部門同会場で開催（1 か所開催）
 - ・ 令和 3 年 12 月 5 日（日）幕張メッセ（全館貸切り）
 - 【一般・染色体・遺伝子・病理・臨床化学免疫・認知症・救急・心電図】
- ③ 令和 3 年度日臨技精度管理調査報告会
 - ・ 令和 3 年 12 月 4 日（幕張メッセ）

審議事項

- ① 総会について
 - 日程、場所、やり方等
 - 6 月 13 日（日）または 6 月 20 日（日）を候補日とする
 - Zoom 併催ではどうか？→メイン会場を設定し、Zoom 配信も同時に行う
 - メイン会場：島根大学医学部ゼブラ棟 承認
- ② タスクシフト事業について
 - 6 月頃に法案が通る予定
 - 実技講習の開催方法について
 - 7 月くらいから Web 学科研修 → 実技講習 になる見通し
 - (会長構想) 県内何ブロックかに分けて巡回講習
 - 5 年間
 - 40 人/回、受講者 500 人を想定すると 10-15 回開催で達成できる
 - 1 回の講習で 8 項目の全講習予定
- ③ 令和 3 年度島根県学会・精度管理調査報告会について
 - 令和 2 年度の島根県学会は中止
 - 令和 3 年度は会場開催を目指す（令和 4 年 4 月頃開催予定） 承認
- ④ 臨床微生物・染色体遺伝子部門 副部門長の交代について
 - 現：副部門長 原 綾香 氏（県中メディエンス検査室） — 産休の為交代を要請
 - 新：副部門長 竹内 志津枝 氏（島根大学附属病院） 承認
- ⑤ 島根医学検査投稿書類の保管について
 - 投稿者 1 名に 4 種の書式がある（投稿者は例年 10 名前後）
 - 後日取り出して何か確認するようなことは、ほぼ無い
 - 現在学術部長が保管し持ち回りしているが、事務局での保管を提案

- 保管方法は？ → デジタル化し事務局保管
- 保管期間は？ → 3年保管後処分 承認

⑥ コロナ感染予防ガイドラインについて

- 集合教育中止・縮小の決定はだれがするのか？ → 最終判断は会長が行う
- 判断時期は？ → 1週間前に判断
- 研修会申請書にも緊急連絡先を記載できるようにする 承認

⑦ 令和3年度予算案について

- 特に意見等なし 承認

2 企画部

新型コロナ感染拡大予防のため全て中止

3 西部地区

新型コロナ感染拡大予防のため全て中止

4 広報部

島臨技ニュース

No. 160 (令和 2年 8月)

新・旧会長挨拶、令和2年度事業計画、役員紹介、研修会報告、他 (P 8)

No. 161 (令和 3年 1月)

年頭の挨拶、役員・学術部門員・新入会員自己紹介、他 (P 16)

5 学術部

1) 学術各賞の表彰について

なし

2) 研修会

(1) 生物化学分析部門研修会

日 時 令和 2年 6月 1日

会 場 メールによる資料配布と感想文提出による参加確認

内 容 講演 1 「ALP・LD IFCC 法切り替えにむけて

～酵素測定法の変遷と現状について～

講師：富士フイルム和光純薬株式会社 中国営業所 西川 敦子 先生

講演 2 「臨床への対応はどうしますか？」

講師：株式会社 LSI メディエンス ラボ運営・開発センター東日本推進部長
中川 聡 先生

講演 3 「当院の移行時期と準備状況について」

講師：島根県立中央病院メディエンス検査室 福間 弘行 技師
NHO 浜田医療センター 平岡 健吾 技師
松江赤十字病院 岩田 祐紀 技師
島根大学医学部附属病院 佐藤 恵美 技師

参加人数 42名

(2) 臨床血液部門研修会

日時 令和2年10月18日(日) 10:00～11:30

会場 Zoomによるオンライン方式

内容 「検査が面白くなる 血液検査の基礎」

講師：山陽女子短期大学臨床検査学科

三島 清司 先生

参加人数 81名

(3) 輸血細胞治療部門研修会

日時 令和3年2月21日(日) 10:00～11:30

会場 Zoomによるオンライン方式

内容 講演1「血液型の基礎と血液型検査の異常反応に対する対応」

講師：中四国ブロック血液センター品質部検査一課

紺谷 圭奈美 先生

講演2「精度管理調査報告会」

参加人数 53名

(4) 病理・細胞部門研修会

日時 令和3年2月23日(火・祝) 14:00～15:00

会場 Zoomによるオンライン方式

内容 「がん遺伝子検査のための病理・細胞検体の取り扱い」

講師：ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社

病理診断・シーケンシング事業部

マーケティング部 メディカルバリュー戦略グループマネージャー

筒井 康博 先生

参加人数 73名

令和 2 年度 生涯教育一覽表

開催日時	科目	行事名	参加人数	点数
令和 2 年				
6 月 1 日	検体検査	生物化学分析部門研修会	42 人	専門 20
10 月 18 日	検体検査	臨床血液部門研修会	81 名	専門 20
令和 3 年				
2 月 21 日	検体検査	輸血細胞治療部門研修会	53 名	専門 20
2 月 23 日	検体検査	病理・細胞部門研修会	73 名	専門 20

令和 2 年度 名誉会員、参与及び顧問（順不同、敬称略）

顧 問	木 谷 光 博	益田赤十字病院
顧 問	小 阪 真 二	島根県立中央病院
顧 問	矢 野 彰 三	島根大学医学部附属病院
顧 問	紀 川 純 三	松江市立病院
顧 問	中 澤 芳 夫	島根県済生会江津総合病院
顧 問	大 居 慎 治	松江赤十字病院
名誉会員	榎 野 長 蔵	自宅会員
名誉会員	岡 喜 之 助	自宅会員
名誉会員	下 瀬 洋 一	自宅会員
参 与	下 瀬 洋 一	自宅会員

令和 2 年度 委員会委員

1 表彰（賞・罰）審査委員会

委員長	新 田 江 里	島根大学医学部附属病院
委員	糸 賀 真 理	島根県立中央病院
	青 山 真 理	松江赤十字病院
	高 野 智 晴	松江赤十字病院

2 役員推薦委員会

委員長	石 川 佑 介	島根県済生会江津総合病院
委員	兒 玉 る み	島根大学医学部附属病院
	糸 賀 真 理	島根県立中央病院
	山 本 貴 子	松江赤十字病院

徳田	憲治	益田赤十字病院
藤原	誠	雲南市立病院

3 専門委員会

1) 「島根医学検査」編集委員会

委員長	兒玉	るみ	島根大学医学部附属病院
委員	豊田	健治	益田市医師会臨床検査センター
	糸原	奈奈	NHO松江医療センター
	荒木	剛	島根大学医学部附属病院

4 部門委員会

1) 学術部

部門別研究班

生物化学分析部門

部門長	糸原	智生	松江赤十字病院
副部門長	岡崎	亮太	島根大学医学部附属病院
副部門長	恒松	巧	島根県済生会江津総合病院

臨床一般部門

部門長	原	康洋	松江赤十字病院
副部門長	石倉	純子	松江生協病院
副部門長	横田	友理子	公立邑智病院

臨床血液部門

部門長	勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
副部門長	古瀬	裕彦	松江生協病院
副部門長	柳楽	昌宏	大田市立病院

臨床微生物・染色体遺伝子部門

部門長	樋野	智	松江赤十字病院
副部門長	原	綾香	島根県立中央病院メデイエンス検査室
副部門長	山下	大貴	NHO 浜田医療センター

輸血細胞治療部門

部門長	石原	智子	島根大学医学部附属病院
副部門長	糸賀	真人	島根県立中央病院
副部門長	石川	佑介	島根県済生会江津総合病院

病理細胞部門

部門長	長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
副部門長	片寄	充男	島根県立中央病院
副部門長	岡本	幸子	益田赤十字病院

臨床生理部門

部門長	福間	麻子	島根大学医学部附属病院
副部門長	原	法子	島根県立中央病院
副部門長	下垣	真紀子	島根県立中央病院
副部門長	門永	陽子	松江市立病院

副部門長	三浦	久枝	益田赤十字病院
臨床検査総合部門			
部門長	永田	智紀	島根県立中央病院
副部門長	小池	尚司	安来市立病院
副部門長	吉岡	豊道	益田赤十字病院

精度管理委員会

会長	錦織	昌明	松江赤十字病院
責任者	兒玉	るみ	島根大学医学部附属病院
委員長	青山	裕一	出雲徳洲会病院
副委員長	野畑	亜希子	島根大学医学部附属病院
学識経験者	矢野	彰三	島根大学医学部附属病院 検査部長

精度管理実務委員会

委 員	糸原	智生	松江赤十字病院
	岡崎	亮太	島根大学医学部附属病院
	恒松	巧	島根県済生会江津総合病院
	大野	元嗣	松江生協病院
	柳楽	治希	松江赤十字病院
	平岡	健吾	NHO浜田医療センター
	汐田	晋也	島根県立中央病院メディエンス検査室
	原	康洋	松江赤十字病院
	石倉	純子	松江生協病院
	横田	友理子	公立邑智病院
	勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
	古瀬	裕彦	松江生協病院
	柳楽	昌宏	大田市立病院
	足立	絵里加	島根大学医学部附属病院
	今岡	まみ	松江赤十字病院
	別府	凌成	NHO浜田医療センター
	樋野	智	松江赤十字病院
	原	綾香	島根県立中央病院メディエンス検査室
	山下	大貴	NHO浜田医療センター
	石原	智子	島根大学医学部附属病院
	糸賀	真人	島根県立中央病院
	石川	佑介	島根県済生会江津総合病院
	藤原	宇志	島根大学医学部附属病院
	長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
	片寄	充男	島根県立中央病院
	岡本	幸子	益田赤十字病院
	吉原	孝紀	松江市立病院
	福岡	麻子	島根大学医学部附属病院
	下垣	真紀子	島根県立中央病院

三浦	久枝	益田赤十字病院
原	法子	島根県立中央病院
門永	陽子	松江市立病院

(順不同)

2) 広報部

「島臨技ニュース」編集委員会

委員長	藤原	誠	雲南市立病院
委員	杉原	辰哉	松江市立病院

5 関連各種委員および役員

中国四国支部臨床検査技師会

部門連絡責任者学術担当 兒玉 るみ 島根大学医学部附属病院

部門連絡責任者

生物化学分析部門	糸原	智生	松江赤十字病院
臨床一般部門	原	康洋	松江赤十字病院
臨床血液部門	勝部	瑞穂	出雲市立総合医療センター
臨床微生物・染色体遺伝子部門	樋野	智	松江赤十字病院
輸血細胞治療部門	石原	智子	島根大学医学部附属病院
病理細胞部門	長崎	雅幸	島根大学医学部附属病院
臨床生理部門	福間	麻子	島根大学医学部附属病院
臨床検査総合部門	永田	智紀	島根県立中央病院

(順不同)

医学検査学会発表者

1. 第70回日本医学検査学会

現地開催：2020年9月5日・6日幕張メッセ国際会議場

Web開催：2020年10月1日～31日

一般演題発表

「超音波検査にて診断しえたびまん性硬化型乳頭癌の高齢男性例」

矢田 恵梨香

島根大学医学部附属病院

2. 令和2年度中四国支部医学検査学会中止（10月24・25日：徳島）

3. 令和2年度島根医学検査学会中止

令和3年度 一般会計予算

収入の部

款	項	目	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	増減	備考
会費収入			3,980,000	2,660,000	△1,320,000	
	会費収入	会員会費	3,080,000	1,800,000	△1,280,000	450名(今年度のみ4,000円)
		賛助会員会費	900,000	860,000	△40,000	43社
事業収入			1,310,000	630,000	△680,000	
	事業収入	広告収入	300,000	250,000	△50,000	島根医学検査、ニュース
		研修会参加費	180,000	0	△180,000	
		精度管理参加費	230,000	230,000	0	40施設
		助成金	600,000	150,000	△450,000	日臨技助成金
雑収入	雑収入	雑収入	15,000	10,000	△5,000	預金利息、文献使用料
繰越収入	繰越収入	前年度繰越金	4,313,144	5,000,000	686,856	
収入合計			9,618,144	8,300,000	△1,318,144	

支出の部

款	項	目	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	増減	備考
事務費			3,440,000	3,360,000	△80,000	
	庶務費		2,280,000	2,380,000	100,000	
		役員報酬	300,000	300,000	0	
		人件費	1,200,000	1,200,000	0	事務職員人件費
		消耗品費	330,000	300,000	△30,000	文具、消耗品
		通信費	200,000	300,000	100,000	インターネット、Zoom契約料
		備品費	170,000	230,000	60,000	コピー機、セキュリティリース料
		管理諸費	80,000	50,000	△30,000	支払い手数料
	会議費		610,000	430,000	△180,000	
		会議費	60,000	30,000	△30,000	理事会他
		旅費交通費	550,000	400,000	△150,000	
	事務所費	事務所費	500,000	500,000	0	事務所家賃、光熱水道費
	雑費	雑費	50,000	50,000	0	
事業費			3,810,000	3,040,000	△770,000	
	総会費	総会費	140,000	140,000	0	議案集、会場費、講師料他
	精度管理費	精度管理費	700,000	700,000	0	試料代、発送料、実務委員日当
	学術活動費		1,450,000	950,000	△500,000	
		学術活動費	1,000,000	600,000	△400,000	研修会、県学会
		会誌	450,000	350,000	△100,000	島根医学検査
	広報活動費		1,050,000	850,000	△200,000	
		島臨技ニュース	400,000	400,000	0	年4回発行
		広報活動費	200,000	150,000	△50,000	HP維持管理
		地域活動費	450,000	300,000	△150,000	検査と健康展、健康フェスティバル、他
	組織強化費		470,000	400,000	△70,000	
		厚生費	300,000	300,000	0	会員慶弔費、新年賀会
		組織強化費	170,000	100,000	△70,000	
予備費	予備費	予備費	400,000	400,000	0	
支出合計			7,650,000	6,800,000	△850,000	

区分	令和2年度 予算額	令和3年度 予算額	増減	備考
収入額	9,618,144	8,300,000	△1,318,144	
支出額	7,650,000	6,800,000	△850,000	
差引額	1,968,144	1,500,000	△468,144	

一般社団法人日本臨床衛生検査技師会 永年職務精励者表彰

令和3年度

岡代 充生	島根県立中央病院メディエンス検査室
豊田 健治	益田市医師会臨床検査センター
渡辺 仙子	松江生協病院
小浦 清子	やすぎはく愛クリニック
石川 英巳子	益田市医師会臨床検査センター
田中 智美	松江赤十字病院
高野 智晴	松江赤十字病院
原 康洋	松江赤十字病院
石江 眞寿美	自宅会員

(敬称略)

島根県会員状況 (令和3年3月31日現在)

会員総数	454名
賛助会員	41社

会 員 異 動 状 況

令和3年5月10日現在

届出内容	氏 名	勤務先:施設名称
再入会	須山 友香	松江市立病院
再入会	松澤 理絵	松江市立病院
再入会	郷原 由香	自宅会員
新入会	西村 文花	安来第一病院
新入会	金坂 侑美	島根県立中央病院
新入会	佐野 純太	松江市立病院
新入会	松本 果穂	島根県立中央病院
新入会	勝部 史也	松江赤十字病院
新入会	大田 桃佳	NHO 浜田医療センター
新入会	森先 日向子	島根大学医学部附属病院
新入会	金山 優花	出雲徳洲会病院検査科
新入会	野上 海渡	益田赤十字病院
新入会	佐貫 純希	島根大学医学部附属病院
新入会	木村 真由	大田市立病院
新入会	古川 翔太	島根大学医学部附属病院
新入会	宮内 遥	大田市立病院
新入会	中島 結衣	島根県環境保健公社
転入(奈良県より)	中村 純造	JCHO 玉造病院
転入(鳥取県より)	西井 千恵	NHO 松江医療センター
転入(山口県より)	鍬田 隼希	NHO 浜田医療センター
転入(岡山県より)	安立 春菜	自宅会員
転入(愛媛県より)	安田 理恵	出雲市立総合医療センター
転入(鳥取県より)	細田 優太	松江赤十字病院
転入(鳥取県より)	竹下 由季	松江市立病院
転入(日臨技より)	藤田 直樹	安来第一病院
転入(京都府より)	青木 由美子	松江市立病院
転入(広島県より)	坂本 敬志	NHO 浜田医療センター
転入(京都府より)	後藤 月美	自宅会員
転入(鳥取県より)	井上 碧	ヘルスサイエンスセンター島根
転入(広島県より)	清水 克則	津和野共存病院

届出内容	氏名	勤務先:施設名称
転入(東京都より)	矢田谷 浩一	島根県立中央病院メディエンス検査室
転入(沖縄県より)	長倉 紗也香	自宅会員
転入(山口県より)	清水 友章	NHO 浜田医療センター
転入(広島県より)	熊谷 史浦	自宅会員
転入(神奈川県より)	前野 圭徹	島根県立中央病院メディエンス検査室
退会	下村 恭子	やすぎはく愛クリニック
退会	永見 恵子	安来市医師会診療所
退会	安藤 香織	自宅会員
退会	野津 吉友	島根大学医学部附属病院
退会	伊藤 真梨子	島根大学医学部附属病院
退会	林 富士夫	島根大学医学部附属病院
退会	大野 節子	安来第一病院
退会	高橋 淳子	島根県環境保健公社
退会	楨野 長藏	自宅会員
退会	高橋 正豊	益田赤十字病院
退会	本多 朋子	総合病院松江生協病院
退会	渡邊 智昭	雲南市立病院附属掛合診療所
退会	森山 英彦	島根大学医学部附属病院
退会	脇田 佳恵	西部島根医療福祉センター
退会	境 洋子	松江市立病院
退会	安達 恵子	島根県赤十字血液センター
退会	白川 綾香	島根大学医学部附属病院 検査部
退会	金谷 沙季	自宅会員
転出(広島県へ)	小杉 晴香	NHO 浜田医療センター
転出(山口県へ)	平岡 健吾	NHO 浜田医療センター
転出(秋田県へ)	鈴木 賢一郎	島根県立中央病院メディエンス検査室
転出(鳥取県へ)	岩本 拓也	安来第一病院
転出(鳥取県へ)	生島 恵梨子	NHO 松江医療センター
転出(鳥取県へ)	小林 美和子	大田市立病院
転出(兵庫県へ)	田村 克実	島根県立中央病院メディエンス検査室

令和3年度 賛助会員

シスメックス株式会社 広島支店
デンカ生研株式会社 広島営業所
ニッポーメディカル株式会社 広島オフィス
シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
アークレイマーケティング株式会社 広島セールスアンドサービスオフィス
フクダ電子岡山販売株式会社 出雲営業所
ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社 広島支店
オーソ・クリニカル・ダイアグノスティクス株式会社
株式会社テクノメディカ 広島営業所
栄研化学株式会社 中四国営業部
株式会社アキメディ
株式会社エスアールエル 松江営業拠点
株式会社カイノス
株式会社宮田薬品
ビオメリュー・ジャパン株式会社 中四国営業所
株式会社日立ハイテク 関西支店
株式会社アイディエス 広島事務所
極東製薬工業株式会社 中四国営業所
ティーエスアルフレッサ株式会社
積水メディカル株式会社 中国営業所
日水製薬株式会社
武藤化学株式会社 大阪営業所
株式会社エイアンドティー
富士フイルム和光純薬株式会社 中国営業所
チェスト株式会社 広島営業所
ベックマン・コールター株式会社
アボットジャパン株式会社 広島支店
小西医療器株式会社 松江営業所
関東化学株式会社 大阪支店 ライフサイエンス部
株式会社 ビー・エム・エル 松江営業所
メディカルシステム株式会社
東ソー株式会社 大阪支店
有限会社友田大洋堂
日立化成ダイアグノスティクス・システムズ株式会社
ノバ・バイオメディカル株式会社 大阪営業所
シスメックス CAN 株式会社 大阪支店
株式会社福山臨床検査センター 米子支所
株式会社シノテスト 広島支店
株式会社エバルス
バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社 診断薬営業部
日本電子株式会社 広島支店

以上 41 社 (順不同)

一般社団法人 島根県臨床検査技師会
令和3年度 定期総会議案書

令和3年5月27日 発行

発行者 錦織 昌明

発行所 一般社団法人 島根県臨床検査技師会

〒690-0825 島根県松江市学園2丁目23-15

キャステロット102号

TEL (0852) 20-2922 FAX (0852) 20-2933

E-mail : shimane-amt@sanmedia.or.jp

URL : <https://shimane-amt.org/>

編集 錦織 昌明 赤沼 佳子 藤原 圭子